### 令和7年度 特定子ども・子育て支援施設等確認指導・監査事前提出資料

ふりがな	OOほうじん OOOOかい
設置者の名称 (法人等)	〇〇法人 〇〇〇〇会
ふりがな	ふじさわ いちろう
代表者の氏名	藤沢 一郎
主たる事務所の	(〒 251 - 8601 ) 藤沢市朝日町1-1
所在地	(電話番号) <b>0466-50-3562</b> (FAX番号) <b>0466-50-8428</b>
	(E-Mail) <b>fj1-</b> kodomo-se@city.fujisawa.lg.jp

※居宅訪問事業等、事務所を設けずに事業を行う場合は所在地は記載不要

ふりがな	OOほいくえん									
施設の名称	〇〇保育園									
ふりがな	ふじさわ じろう									
施設長の氏名	藤沢 二郎									
施設の 所在地	(〒 251 - 8601 ) 藤沢市朝日町1-1 (電話番号) 0466-50-3562 (FAX番号) 0466-50-8428									
	(E-Mail) fj1-kodomo-se@city.fujisawa.lg.jp									
開設年月日 (事業開始年月日)	2015 年 4 月 1 日 定員 〇 人									

確認年月日 2019 年 10 月 1 日

※子ども・子育て支援法に基づき、無償化の対象施設・事業となるための「確認」を受けた日付を入力してください。

資料作成者 職・氏名	藤沢 三郎	
---------------	-------	--

この様式で示す法令・通知は、次のとおりです。

法	子ども・子育て支援法(平成24年 法律第65号)
運営基準	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準(平成26年 内閣府令第39号)

#### <記入要領>

- ・この資料は、法第30条の3において準用する第14条及び第58条の8の規定に基づき、市が実施する確認指導・監査に必要な情報を記載するものです。
- ・ 必要事項を記入するか、該当項目のチェックボックスを選択して下さい。 (チェックボックスにポインターを合わせ、クリックすれば選択できます)
  - □ 未選択
  - ☑ 選択済
- ・ 質問された事態が発生していない場合もある(保護者が不正に施設等利用費を受けていたら市に通知する等)と思いますが、発生したらどうするかと仮定して回答してください。

事前提出資料の作成方法、添付書類等に関するご質問は、 藤沢市子ども青少年部子ども総務課監査担当(TEL. 0466-50-3562)までお問い合わせく ださい。 令和6年度(2024年度)に提供した特定子ども・子育て支援及び施設等の運営状況について確認をするものです。

- 1. 教育・保育その他の子ども・子育て支援の提供の記録(運営基準第54条)
- 2. 利用料及び特定費用の額の受領(運営基準第55条)
- 3. 領収書及び特定子ども・子育て支援提供証明書の交付(運営基準第56条)
- 4. 施設等利用給付認定保護者に関する市への通知(運営基準第58条)
- 5. 施設等利用給付認定子どもを平等に取り扱う原則 (運営基準第59条)
- 6. 秘密保持等(運営基準第60条)

施設等の類型	選択してください

1. 教育・保育その他の子ども・子育て支援の提供の記録(運営基準第54条)

特定子ども・子育て支援を提供した日、提供日ごとの時間帯、当該特定子ども・子育て支援の具体的な内容等を記録した書類を作成している

保育日誌等	☑ 有	( □ クラスごと ☑ 児童ごと)	
	□無		
山中於	☑有		
出席簿	□無		
その他記録	□有	(内容	)
てり他記録	□無		

- 2. 利用料及び特定費用の額の受領(運営基準第55条)
- (1) 特定子ども・子育て支援を提供した際、施設等利用給付認定保護者から利用料の支払いを受けている
  - ア 施設等利用給付認定保護者との間で、適切な利用料で契約等を締結している
    - □ はい □ いいえ □ 契約実績がない
- (2) 特定費用(利用料以外の金銭)の支払を受けている。
- ア 特定費用(日用品、文房具、その他必要な物品の購入費用、行事参加費等)の徴収にあたり、当該支払いを求める金銭の使途及び額並びに理由について書面により明らかにし、施設利用給付認定保護者に対して説明を行い、同意を得ている
  - □ はい □ いいえ □ 特定費用を徴収していない
- イ 上記「はい」の場合、徴収している特定費用の名称・金額

名称	1人当たりの金額								
給食費	00円	□ 年額		月額	<b>✓</b>	日額		都度	
	円	□ 年額		月額		日額		都度	
	円	□ 年額		月額		日額		都度	
	円	□ 年額		月額		日額		都度	

3.	領収書及	び特定	子ども	• 子育で	支援	是供証	明書の交	付(運営	基準第5	6条)	
(1)	施設等をしている。		認定保	護者に対	対して	、必要	事項が記	載された	注領収書及	び提供証明書	<b></b> 春を交付
	>		対象として 合は、以1					ども・子言	育て支援提供	証明書の交付を	をしてい
ア	施設等	利用給付	認定保	護者に対	対し、	領収書	及び提供	証明書を	を発行してい	いる	
イ	☑ 特定費↓ いる	, 5	ひてい	- 22	領収	書には	利用料の	額と特定	官費用の額:	を区分して言	己載して
ウ	その他	必要な事	育て支援 項を記	載した打	した E 是供証		間帯、内線 交付して		の額(特定	<b>産費用の額は</b>	除く)、
エ	図 利用料	•	[                 	_	. –	ている	Ś				
	√ 37134 ✓	はい		] [11]							
4.	施設等和	用給付	認定保認	護者に関	するī	市への	通知(運	営基準第	5 8 条)		
(1)	正な行		て施設	等給付	費の支	給を受				護者が偽りる きは、遅滞な	
ア	施設等	利用給付	認定保	護者が信	為りそ	の他不	正な行為	を行った	と場合、市	に通知してい	いる
	<b>▽</b> ※		E 発生してV	_	. –	生したも	場合を仮定	<u>して</u> 回答	してください	0	
(1)	施設等を	利用給付 る費用を	け認定子 ☆負担す け認定子	どもの るか否	国籍、 かによ 対して	信条、 って、	社会的身 差別的な	分又は特 取り扱い	第 <b>59条)</b> 持定子ども いを強いてい っていない;	・子育て支払 いない	爰の提供
(1) ア	施設等を施設等を	利用給付 る費用を 利用給付 はい	け認定子 ・負担す け認定子	どもの[ るか否え どもにタ 」 いい	国籍、かによけして	信条、 って、	社会的身 差別的な	分又は特 取り扱い	寺定子ども いを強いて	・子育て支払 いない	爰の提供
(1) 7 6. (1)	施に施 <b>秘</b> 職利施 <b>秘</b> 職利施等 <b>秘</b> 職利施等	利る利 用費用 は 等管認職は で理定員その ででである。 ででは、 ででででは、 でででできる。 でででは、 でででできる。 でででは、 でででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 では、 ででいる。 では、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	認負認	どるど コー	国かけい うあ家これ まて かけい たの員	( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	社会的の取りである。	分 取 扱 り が な い よ な い よ な り れ い れ い れ い れ い れ い れ い れ い れ い れ い れ	特定子ども いを強いない。 、、その業 ご知り得た	・子育て支払 いない	 た施設等 合付認定
(1) 7 6. (1) 7	施に施 <b>秘</b> 職利施子で 施子 設要設 <b>密</b> 員用設どい 設ど 等す等 ② <b>保</b> 及給等もる ② 等も	利る利 <b>等</b> で対の又か の又 無対 無対 無対 無対 無対 無対 は職は は職は は職は は職は の の の の の の の の の の の の の の の の の の	おります は は は は は ない ない まま は は ない ない ない ない まま いい は で は ない ない ない ない は は いい は いい は いい は	どるど ] <b>育職は者秘</b> ] 者秘 もかも <b>6</b> 員そ並密 並密 がびのびに いびの	国かけ、 うあ家こり いこな籍にし え 一の族職す え職り、よて たの員る 員扱	「信っ、	社差的 正漏た保 本者で 当ら者管 で者で である。 である。 である。 では、 とおり で、 とおり で、 とおり で、 とおり で、 とおり で、 とおり で、 とおり である。 である。 である。 である。 これの <th>分取扱由い業に業切は扱をない上い上指よい上指</th> <th>またまれていた。 またまないい。 また、この、この、この、この、この、この、この、この、この、この、この、この、この、</th> <th><ul><li>・子育て支持</li><li>いか</li><li>務上知り得力</li><li>施設等利用系</li><li>施設等利用系</li></ul></th> <th>た施設等 合付認定 を備され )</th>	分取扱由い業に業切は扱をない上い上指よい上指	またまれていた。 またまないい。 また、この、この、この、この、この、この、この、この、この、この、この、この、この、	<ul><li>・子育て支持</li><li>いか</li><li>務上知り得力</li><li>施設等利用系</li><li>施設等利用系</li></ul>	た施設等 合付認定 を備され )
(1) 7 6. (1) 7	施に施 <b>秘</b> 職利施子で 施 歌要設 <b>密</b> 員用設どい 設 <b>将</b> 及給等もる ②等	利る利 <b>等</b> で対の又か の又 用費用 は <b>等</b> 管認職は は職は (理定員そ い員そ 及の 及の	おります は は は は は ない ない まま は は ない ない ない ない まま いい は で は ない ない ない ない は は いい は いい は いい は	どるど ] <b>育職は者秘</b> ] 者秘 もかも <b>6</b> 員そ並密 並密 がびのびに いびの	国かけ、 うあ家こり いこな籍にし え 一の族職す え職り、よて たの員る 員扱	「信っ、	社差的 正漏た保 た者的的取 なしが方 のが 理で、法 他、	分取扱由い業に業切は扱をない上い上指よい上指	持定子ども ド定子強いい ・ 知、 ・ 知、 ・ 知、 ・ 知、 ・ 知、 ・ 知、 ・ こ、 ・ 知、 ・ こ、 ・ こ 、 ・ こ 、 ・ こ 、 ・ こ 、 こ 、 。 こ 、 。 ・ こ 、 ・ こ 、  こ 、	<ul><li>・子育て支持</li><li>いか</li><li>務上知り得力</li><li>施設等利用系</li><li>施設等利用系</li></ul>	た施設等 合付認定 を備され )
(1) ア 6. (1) ア	施に施 <b>秘</b> 職利施子で 施子 小設要設 <b>密</b> 員用設どい 設ど 学等す等 ② <b>埃</b> 及給等もる ②等も ② 校、	利る利 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	される   <b>さいまた   では、                                  </b>	どるど   有職は者秘   者秘   もかも   6員そ並密   並密 ・ の否に いびのい 子	国い付い こうあ家こ男 いこない 育籍にし えー っ族職す え職りえ て、よて たの員る 員扱 支	·信っ、 者秘で管 でい 援条て差 は密あ理 あに 提、、別 とっ・ □っつ □ 供	社差的 正漏た保 たい 者会別な 当ら者管 そ者てそ そのが、の のが、の ののが、の ののが、の ののがなり 埋て、法 他、適他 他	分取扱由い業に(業切(の)又りいがな務つ務なとりない上い上指関大ででで <th>きた デン デン デン デン デン デン デン デン デン デン</th> <th><ul><li>・子育て支持</li><li>いか</li><li>務上知り得力</li><li>施設等利用系</li><li>施設等利用系</li></ul></th> <th>た施設等 合付認定 合付認定 合付認定</th>	きた デン デン デン デン デン デン デン デン デン デン	<ul><li>・子育て支持</li><li>いか</li><li>務上知り得力</li><li>施設等利用系</li><li>施設等利用系</li></ul>	た施設等 合付認定 合付認定 合付認定
(1) ア 6. (1) ア イ (2)	施に施 秘職利施子で 施子 小子を 特関設要設 密員用設どい 設ど 学ど得 定に等す等 ② 保及給等もる ②等も ② 校もて 子対	利る利 「斧び寸の又か」の又 これどし、用費用 は 「等管認職は」 は職はは 他関る もて給用給 い ((理定員そ)い員そい のす・・施付を付 「運者子及の」 及の 特る 子設	潜・とび家 で家 定情 育等定担定   基がも管族 管族 子報 て利子す子 [ 単に又理の 「理の「」どを 支用	どるど <b>一                                  </b>	国いけい うあ家こ関 いこ取い 育る 等官籍にし えー っ族職す え職りえ て際 が子、よて たの員る 員扱 支に 小ど	「信っ、    者秘で管   でい   援は  学も . 条て差    は密あ理   あに   提、  校に 、、別    、をっ・  □っつ □ 供あ 、関	社差的正漏た保たい者ら会別な当ら者管そ者てそか的的取なしが方のが、ののじ特身なり理て、法他、適他他め	分取扱由い業に (業切(の文子を)又りいがな務つ務な 機書 ど提いは扱をない上い上指 関に も供い	持たたた<	<ul><li>・子なり</li><li>・子なり</li><li>・みかり</li><li>・子なり</li><li>・上知り</li><li>・子なり</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><li>・スクラン</li><l< th=""><th>た 施 設 き で で で で で で で で で で の で の で の で の で の</th></l<></ul>	た 施 設 き で で で で で で で で で で の で の で の で の で の

## <u>実地</u>による確認指導の対象施設向け

#### 7. 当日準備する書類

項目	基準	書類等の内容
(1) 特定子ども・子育て支 援の提供記録	5 4 条	特定子ども・子育て支援を提供した日、時間帯、支援の具体的な内容、その他必要な記録がされている資料 (例:保育日誌、保育状況記録簿、登園簿等)
(2) 利用料及び特定費用の 額の受領	55条	①保護者との間に締結した契約により定められた利用料の額の支払を受けていることがわかる資料 (例:利用申込書、利用契約書、重要事項説明書等) ②特定費用について、あらかじめ金銭の使途、額、理由について書面により明らかにしていることがわかる資料 (例:利用申込書、利用契約書、重要事項説明書、パンフレット、同意書等) ③特定費用について、保護者への説明を行い、同意を得ていることがわかる資料 (例:同意書等)
(3) 領収証及び特定子ど も・子育て支援提供証 明書の交付	56条	①利用料と特定費用を区分して記載した領収証を交付していることがわかる資料 (例:領収証、領収書兼提供証明書の控え) ②特定子ども・子育て支援を提供した日、時間帯、支援の内容、費用の額等を記載した提供証明書を交付していることがわかる資料 (例:提供証明書、領収書兼提供証明書の控え)
(4) 施設等利用給付認定保 護者に関する市への通 知	58条	①保護者が偽りその他不正な行為によって施設等利用費の給付を受け、又は受けようとしたとき、遅滞なく、意見を付してその旨を市町村に通知していることがわかる資料 (例:施設等利用給付の認定を受けた保護者に関する市町村への通知控え)※1 事例がない場合は不要
(5) 秘密保持等	60条	①施設職員又は施設職員であった者が、正当な理由がなく、業務上知り得た子ども又はその家族の秘密を漏らさないよう、必要な措置を講じていることがわかる資料 (例:就業規則、雇用契約書、個人情報に関する誓約書等) ②他の機関に対し、子どもに関する情報を提供する際には、あらかじめ文書により保護者の同意を得ていることがわかる資料 (例:個人情報提供に関する同意書等) ※2 ※2 事例がない場合は不要

# <u>書面</u>による確認指導の対象施設向け

### 7. 事前提出資料に添付していただく書類

項目	基準	書類等の内容	書類等の有無
(1) (1) (計) ファンナ	F 4 8	特定子ども・子育て支援を提供した日、時間帯、支援の具体的な内容、その他必要な記録がされている資料 ※ 1	あり
特定子ども・子育て支援の提供記録	54条	※1 令和6年度に無償化対象として特定子ども・子育て支援の	<i>w</i> )
		提供をしていない場合は <u>様式のみ提出</u> ①保護者との間に締結した契約により定められた利用料の額の支払を受けていることがわかる資料 ※ 2 (例:利用申込書、利用契約書、重要事項説明書等) ※2 令和6年度に無償化対象として特定子ども・子育て支援の提供をしていない場合は <u>添付不要</u>	あり
(2) 利用料及び特定費用の 額の受領	5 5 条	②特定費用について、あらかじめ金銭の使途、額、理由について書面により明らかにしていることがわかる資料※3 (例:利用申込書、利用契約書、重要事項説明書、パンフレット等)  ※3 令和6年度に無償化対象として特定子ども・子育て支援の提供をしていない場合は、特定費用の額等に係る説明資料のみ提出	あり
		③特定費用について、保護者への説明を行い、同意を得ていることがわかる資料 ※2 (例:同意書等) ※2 令和6年度に無償化対象として特定子ども・子育て支援の提供をしていない場合は派付不要	あり
		①利用料と特定費用を区分して記載した領収証を交付していることがわかる資料 ※4 (例:領収証、領収書兼提供証明書の控え)	あり
(3) 領収証及び特定子ど も・子育て支援提供証 明書の交付	56条	②特定子ども・子育て支援を提供した日、時間帯、支援の内容、費用の額等を記載した提供証明書を交付していることがわかる資料 ※4 (例:提供証明書、領収書兼提供証明書の控え) ※4 令和6年度に無償化対象として特定子ども・子育て支援の提供をしていない場合は添付不要	あり
(4) 施設等利用給付認定保 護者に関する市への通 知	58条	①保護者が偽りその他不正な行為によって施設等利用費の給付を受け、又は受けようとしたとき、遅滞なく、意見を付してその旨を市町村に通知していることがわかる資料 ※5 (例:施設等利用給付の認定を受けた保護者に関する市町村への通知控え)	事例なし
		①施設職員又は施設職員であった者が、正当な理由がなく、業務上知り得た子ども又はその家族の秘密を漏らさないよう、必要な措置を講じていることがわかる資料 (例:就業規則、雇用契約書、個人情報に関する誓約書等)	あり
(5) 秘密保持等	60条	②他の機関に対し、子どもに関する情報を提供する際には、あらかじめ文書により保護者の同意を得ていることがわかる資料 ※6 (例:個人情報提供に関する同意書等) ※6 施設等利用給付認定子どもに関する情報を他の機関に提供した事例がない場合は <u>添付不要</u>	事例なし